

カタロにて プリザーブドフラワー シェリー

日時: **8月 22日(月)・27日(土)**
13:00~15:00

体験: 3,000円 (全て込み)

*苔玉のグリーンアレンジ...涼し気です。
 *おむつケーキ、オーダー、レッスン承ります。

お問合せ・お申込み:
片岡 090-7267-4498
 HP <http://p-f-cherie.petit.cc/>

カタロにて 韓国語講座

日時: **8月 8日(月)・22日(月)**
10:00~11:30

会費: 3,500円

講師 邊 美仙
 韓国ソウル出身。ソウルにて誠信女子大を卒業後、筑波大学の大学院修士課程を修了卒業。

お問合せ・お申込み
篠崎 080-5543-7489

カタロ通信

VOI.162
 2011年 8月号

<http://www.e-kitazawa.com/>



<p>北澤工務店 301-0855 龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-7 TEL: 0297-60-1333 FAX: 0297-60-1311 e-mail: info@e-kitazawa.com</p>	<p>カタロ 301-0855 龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-12 TEL: 0297-60-1666 閉館日: 水曜日 e-mail: kataro@e-kitazawa.com</p>	<p>甘味café 空~くう~ 301-0855 龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-12 TEL: 0297-63-0730 定休日: 水曜日 e-mail: kuu@e-kitazawa.com</p>
---	---	---

財団法人性能保証住宅登録機構加盟建設業許可茨城県知事(般-17)第22696号 宅地建物取引業者茨城県知事免許(3)第5344号

ぼちゃぼちゃミセス コーナー

おすすり 夏の美味しいお野菜(穀物)のひとつ、とうもろこし。子供の頃、お盆の時期になるとおやつに茹でたとうもろこしをよく食べていました。我が家の子供たちも好きなので、一年中コーン缶や冷凍のとうもろこしもよく食べますが、夏が旬の食べ物なんですよ。

実はおいしいだけじゃないのです。身体のエネルギーになる炭水化物を主として、ビタミンB1、ビタミンB2、ビタミンEなどのビタミン群、リノール酸、食物繊維、そしてカルシウム、マグネシウムなどの各種ミネラルをバランスよく含んでいる栄養豊富な食品なのです。とくに、食物繊維の量は他の野菜や穀類と比べても、多くふくまれている食品のひとつで、栄養素は胚芽部分に多くあります。まるごとおいしくいただいたほうがいいそうです。でも、茹でて残ることってありますよね。我が家では芯から取って冷凍していますが、忙しい夏休みの朝食やおやつに残ったとうもろこしを使ってコーンパンはいかがですか。パンの上にとろろこしとマヨネーズ、塩コショウ少々を混ぜたものをのせてオーブンで焼くだけです。その上にとろけるチーズをのせても!パンはなんでも大丈夫!ロールパンなら横から切ってコーンをのせてください。コンビニなどでよく売られているものですが、自宅で作ると、旬を美味しくいただきます!

おすすり 先日娘にこの本読んでみたらと渡されたので早速読んでみました。その本は「アイデンティティの作り方」という本で、漫画仕立てで読みやすく最後まで一気に読んでしまいました。60ページと短めの本ですが内容は分厚い本にも劣らない程の奥深いものでした。私はこの本を読んでみて、青年期は14・15歳~24・25歳までの時期で自分らしさを模索する時期であることを知りました。自分らしさとは何かを知ることをアイデンティティの確立と言うそうです。アイデンティティを確立するためには、自分の性格や将来どんな自分でありたいかを自覚することです。これを自覚していく為に勉強・部活・恋・遊び・けんかなどいろんなことを体験しながら成長していくのです。自分を発見すると言っても、自分は役立たずのダメな人間だと感じてしまったら、それはアイデンティティの確立とは呼びません。また日本人にありがちな友達と一緒にだかいいやと安心して、自分らしさを求めているのも同様です。人間は誰でも長所と短所がありますが、たとえどんな欠点があっても、それを含めて自分は価値のある人間だという気持ちを持つことが、アイデンティティの確立だということです。

子育ては大変ですよ。毎日が勉強です。私は、子育てするのにこの本を読んでおけば、中学生のトゲトゲしていた時期、なんで家の子こんになっちゃったのかな?とか、高校生の進路に悩んでいた時期の子供の気持ちがより理解できたのではないかなと思います。夏休みは子どもと長く接することができ、より理解し合えるチャンスです!!子どもの特性を知り、子育ての楽しい時間を過ごしてください。黒木家の本を貸し出します。ご連絡ください。

『「アイデンティティの作り方」北原りゅうじ作 少年写真新聞社』

若い時期にアイデンティティが確立できた人って凄いな~と思います。自分はまだまだアイデンティティが確立されていない40代後半のおばちゃんです。でも自分を見つめなおし、10年先の目標を立て努力しなければと思うぼちゃぼちゃミセスこと黒木でした。

皆様の生活に役立つ情報を記載していくコーナーです。担当は北澤工務店のぼちゃぼちゃミセスこと黒木です。







7月吉日 龍ヶ崎市F様邸の地鎮祭を執り行ないました。

北澤工務店 & 甘味Café 空~くう~から...

8月 空のミニショップは...
 『コシヨ』 ~ あみぐるみ
 『手芸工房 亜雅沙』 ~ ハンカチブローチ

夏は空~くう~の 冷え冷えメニュー!
 空~くう~ 夏季限定メニュー はじめました。
 ・ サラダうどん (一日10食限定)
 ・ かき氷
 ・ 冷やしぜんざい

北澤工務店・カタロ・甘味Cafe 空~くう~は
 8月13日(土)~17日(水)まで、お休みをいただきます。

龍ヶ崎市 Y様邸 上棟までのあゆみ



7月吉日 龍ヶ崎市 Y様邸の上棟式を執り行いました。



建て方工事
上棟の準備が整ってきました。

北澤工務店の家づくりには、コンピュータープレカットだけでは家が建ちません。大工さんの加工技術が必須です。



杉の大黒柱は『末広がり』で縁起のいい八寸材を用います。その大黒柱は家のほぼ中心にあるため、四方から大きな横架材が差し込まれるため、普通一般的な金物による補強ではここもありません。というわけで、ひと手間加えて『やとい車知(しゃち)継手』の加工をしています。昔からある伝統工法の技術の一つです。



5月吉日 地鎮祭

アクリド工法による地盤改良工事

一般的なセメントミルク工法に比べ、1本の杭を打つのに相当時間が掛かりますが、環境に優しい工法です。

アクリド工法：水と空気の利用した独自の掘削技術(WAL工法)と地震時の液状化現象に強い砕石パイル工法を組み合わせた新しい地盤改良工法です。穴を掘り、砕石を入れて、締め固めることによって、地盤を強化します。



ベタ基礎のコンクリート打設



新築にあたり移設した大きなかりんの木。新芽が増えました。

これからもずっとご家族を見守ってくださるでしょう。



つい先日7月号の『ひとりごと』を書いたと思ったら、もう8月号の要請。ほんとに時間が経つのは早い。2011年としてみても3分の2が過ぎようとしているわけですからね。暑い暑い、と言ってみてもあと一ヶ月もすればお彼岸、秋です。いかがお過ごしですか。

3月11日から毎日毎日屋根の上のわたし。今月号もその震災のお話を書くようになってしまったのかなあ、、、と案じていたら、ちょびっと楽しいトピックスが浮かんできました。震災による屋根工事出会った北越瓦工業の板垣社長との出会いです。

先月号でご紹介した新潟の友人あきちゃんの尽力によってご縁が繋がった北越瓦工業さん。早速7月10日より社長共々3名のかわらぶき職人が龍ヶ崎に乗り込んでくださいました。日曜日のこの日、長旅ながらお昼ごろに着くと直ぐ様『現場に行きましょうか!』と板垣さん。

一日二日で新潟に帰られるのかと思いきや、板垣さん自ら屋根に上り、水曜日まで重量級の現場を陣頭指揮してくださいました。むっちゃくちゃ暑い、というかあっちに熱い屋根の上、楽をしようと思えばいくらでもできるものを……。屋根の上から眺めるブルーシートの屋根の連なりを見て、『いや〜、思っていた以上ですね。メドが立つまでは帰れませんわ』そのリーダーシップに感動すら覚えたのでした。

帰省日の水曜日、新潟まで2tダンプで板垣さん一人で帰るといので、龍ヶ崎市発行の被災証明を使ってわたしも同行することになりました。高速代金が無料になりますからね。

その車中が実に楽しかった!!! 漫才道中というか、なんとというか。あつという間に新潟に着いたって感じです。ほくは板垣さんの人柄にすっかり包まれてしまいました。

実は北越瓦工業さんのある新潟県村上市は、ほくにとって忘れ難い場所なんです。ガタンガタン揺れるダンプを運転しながら、ほくの記憶は23年前にさかのぼっていました。。。21歳の頃のおさむです。

20歳の時に那覇から北海道宗谷岬まで日本縦断徒歩旅行を完歩し、『生きる意味』をはっきりと手にしたわたし。でも日々の暮らしはそうカンタンではなかった。バブル絶頂のこの頃、カネに狂った社会に背を向けるような悶々とする日々は続いた。荒れた暮らしを続けていたときふと、『縦断したんだから、横断もやってみようかなあ』と思いついた。バブルの学生はヒマでしたから、早速実行計画。

総予算1万円、主食パンの耳。外泊しない、外食しない、車に乗らないは縦断の時と同じ。で大洗から。。。んん、このルートを通って、、、そうだなあ、、、新潟の村上まで行ってみよかあ。だいたい450km。2週間くらいかな。そうだ、せっかくだから大洗の太平洋の海水を村上の日本海に混ぜてみよう!!! 何か起こるかも!!!

電車を乗り継いで大洗に到着。いよいよ始まる。一升瓶に太平洋の海水を詰め込み(いや実はこれが予想以上に大変だったん

です。波で衣服がビシャビシャ!(笑)そして、てくてくと歩き始めました。

てくてくてくてく、、、ただただ荷物を背負って歩くだけ。でもそんなくだらないことなんですけど、ほくのこころの中は自由だった。バブルも人間関係も無縁だった。

2週間後、たくさんのご縁やエピソードに支えられ、新潟県村上市の日本海の広がる砂浜に到着。そして、荷物の中に鎮座していた太平洋の海水の一升瓶を万感の思いで取り出し、、、栓を開け、、、逆さに。。。。ドクドクドクと日本海に流れ落ちる太平洋の海水。。。。!!!

ほくの日本横断徒歩旅行は完了しました。

.....

ガタンガタンガタンと揺れるダンプの中。狭い車内で4時間以上も一緒ですから、板垣さんとほくはもう旧知の仲のような感覚でした。そしてほくにとってかけがえのない村上市とのご縁のこの日本横断徒歩旅行のお話などして、車内は絶好調なほど盛り上がり!!!

で、その時の板垣さんの反応がすごかったです。ほくはこれまでもこの旅行のお話をしてきましたが、板垣さんのような反応は初めてでした。先輩の板垣さんに若造のほくが言うものなんですが、ほく以上に感性がずば抜けて素晴らしい!!! それはこんな言葉に代表されます。

『いやー、太平洋の海水を日本海に混ぜるなんて、そんなバカげたことをやる人の話は初めて聞いたよ。それでもその、なんつーかなあ、日本海もたまげたらうなあ。『うわ、うわっ! 何事だ!!!』みたいな、「おいおまえ、どこのモンだ!!!」みたいな。「うわ、こいつら太平洋の連中だ!」みたいな、、、(爆笑)』

まるで当事者なんです。

板垣さんの感性って、思い出すといつもそうなのかもしれない。支援の要請のため初めて新潟の会社にお邪魔させていただいた時のこと、崩れた屋根瓦の写真を見て『これじゃあ瓦がかわいそうだ。。。』『なんとかしてやらねばなあ。。。』アタマで考えたら、こんな言葉でできませんよね。打算の方では絶対に出ない言葉だと思う。

リーダーがこういう方ですから、職人のみなさんも素晴らしい。とにかく現場が明るい。人間ですから全部が全部ではないと思いますが、きつうまくいかないこともあると思うのですが、それにしてもリーダーの創る社風というか雰囲気これほど見事に現場に現れている会社さんも少ないのではないかと。思う。

この震災がなかったら出会うことのなかった板垣さん。震災復興後もずーっとお付き合いさせていただきたいな。行徳先生の言われる、まさに『余韻を感じさせる人』だから。

酷暑に放射能に不安定な政局に。。。だれもが『いったいどうなっちゃうの!?!?』の今日、考えることも大切だけれど、感じることを意識した毎日を送りたいと思います。そして一日も早く、崩れた屋根を治します。

